

東証プライム 4631

DIC株式会社

2026年度第2四半期決算説明資料

2026年8月



DIC株式会社

ハイライト

上期 実績	営業利益 518億円 前年同期比 +92.2% 過去最高益を達成	- 売上高は5,930億円となり、前年同期比13.3%の増収 - 旺盛な半導体需要により、成長事業であるケミトロニクス事業が25.5%の大幅増収 - 各セグメントにおいて原料価格高騰に対する速やかな価格対応やコスト削減を実施した
年間 見通し	営業利益 780億円 前年同期比 +49.4% 過去最高益の見通し	- 各セグメントで高付加価値製品の拡販が進捗 - 下期の見通しに、中東情勢に伴う顧客による在庫積み増しの反動や、原料価格高騰の影響の顕在化などのリスクを織り込んだ上で、年間営業利益は過去最高益となる見通し - 当期純利益見通しも480億円に上方修正。過去最高益となる見通し
株主 還元	1株当たり年間配当 150円 (当初計画から10円増配) 自己株式取得 100億円	- 当期純利益見通しが当初計画を大幅に上回ったため、「総還元性向40%以上」という株主還元方針に沿って、当初計画から追加となる増配と自己株式取得を決定 - 今回の見通しに基づく総還元性向は50%

中東情勢の当社事業への影響について

2026年5月時点 (Q1決算発表)

- 当社製品の原料は、約 7 割が石油化学製品であるため、中東情勢の悪化により原料の調達制約や価格高騰という形で今後直接的な影響を受ける見通し
 - 原料の調達制約リスク：主に中東産ナフサへの依存度が高い日本で想定
 - 原料価格の高騰リスク：日本、米州・欧州、アジア各地域で想定
- グループ全体をあげて必要となる原料の確保、**原料コストの上昇に対するタイムリーな価格対応、追加のコスト削減策の実施**などに取り組み、事業への影響を最小化する
 - グローバルに拠点を持つ強みを活かし、地域間で原料や製品を融通し、影響の低減を図る
 - 調達先の分散により原料の安定確保に努めるとともに、タイムリーな価格対応を実施

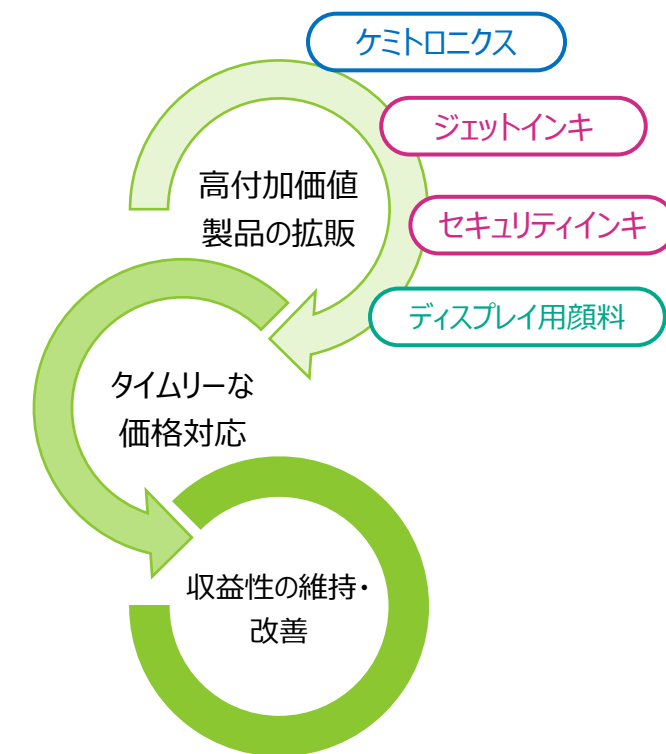
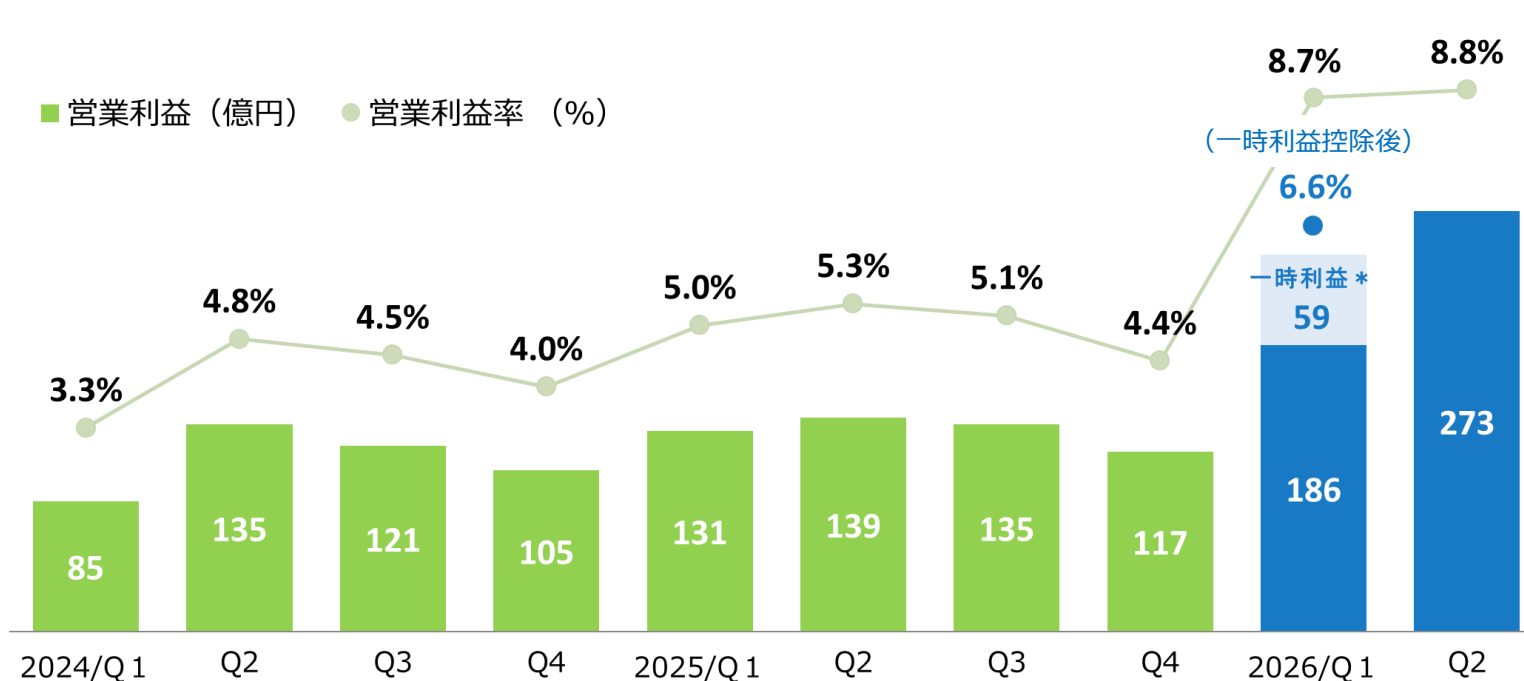
(2026年第 1 四半期決算説明資料)

2026年8月時点 (上期決算発表)

- 原料の調達制約のリスクは大幅に低下したが、中東情勢が再び緊迫化したため、先行きへの不透明感は継続
- **世界的に安定供給への要請が高まっており、従来よりも早いペースで原料コスト上昇に対する価格対応が進捗**
- 下期は高コストの製品在庫が出荷されることにより、スプレッド縮小が見込まれるが、年間ではQ1の営業利益率（一時利益控除後）を維持できる見込み

四半期営業利益推移

- 半導体関連市場の需要増加を背景に、2026年Q1からケミトロニクス事業の利益が大幅に増加した
- 世界的に安定供給への要請が高まっており、従来よりも早いペースで原料コスト上昇に対する価格対応が進捗。原料価格上昇局面での収益性悪化を回避
- 下期は、高コストの製品在庫が出荷されることにより営業利益率は低下することが見込まれるが、高付加価値製品の拡販や顔料事業における合理化により、**年間の営業利益率は7%程度を維持する見通し**



*法令上必要となる前提で過年度に計上した修繕に関する負債を取り崩した。円換算レートを上期平均に更新したため、金額はQ1時点の58億円から59億円に修正した

2026年～2030年累計のキャッシュアロケーション

財務健全性を確保しつつ、事業成長や収益拡大のための
戦略投資、株主還元バランスよく資金投入

キャッシュ・イン
営業CF 4,090億円
資産売却等 230億円 + α



キャッシュ・アウト
通常投資 2,400億円
戦略投資 + CVC 900億円 + α
株主還元 780億円 + α
有利子負債削減 240億円

● 持続的成長と稼ぐ力を備えた事業ポートフォリオを構築

「成長事業（半導体、バッテリー、フィジカルAI）」に投資

- ✓ 半導体用エポキシ樹脂プラント新設 
- ✓ スイスにディープテック分野の有望スタートアップへの戦略投資および協業創出を担う活動拠点を設立 

● 利益成長に応じた株主還元と資本の適正化 総還元性向40%以上

- ✓ 業績が当初計画を上回ったため、利益成長を原資とする増配と自己株式の取得による追加還元を決定
- ✓ 株価水準や資本の適正化を考慮し、自己株式取得100億円を組み合わせる

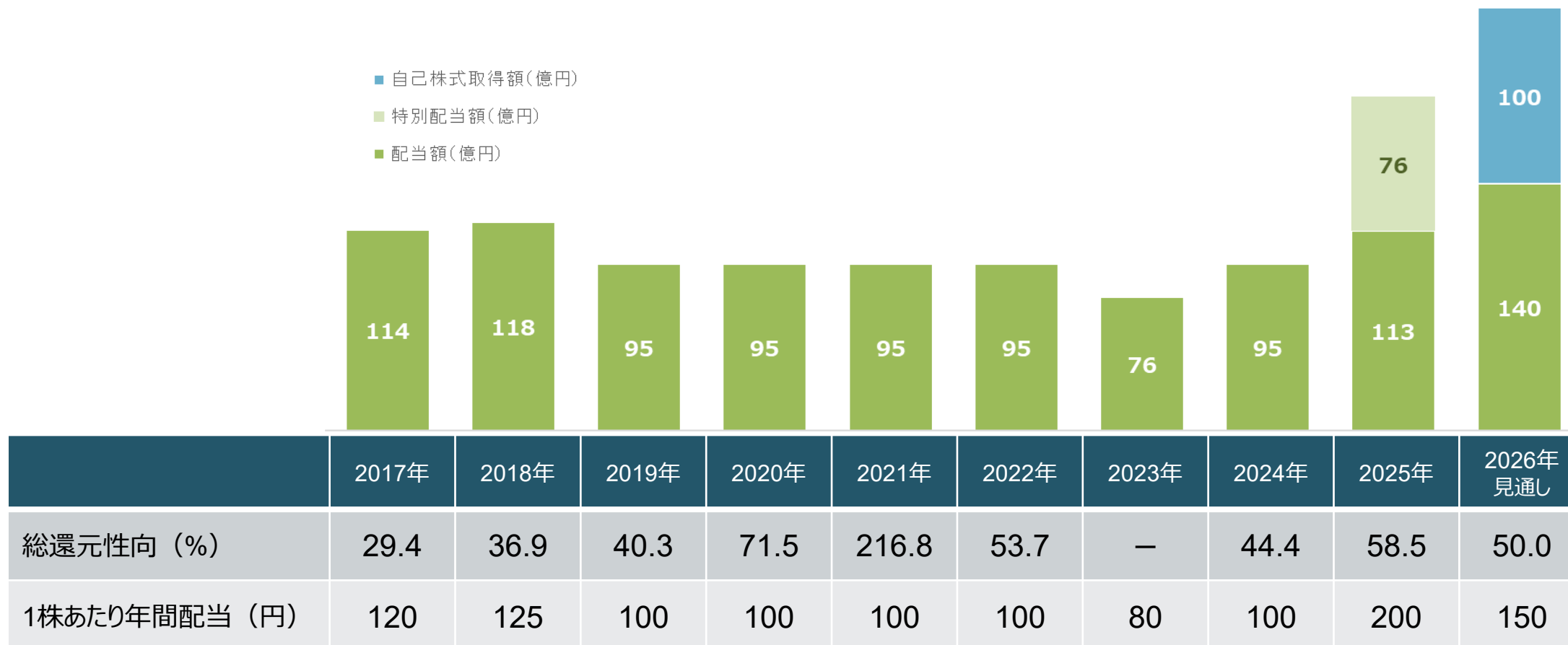
● 財務健全性の確保

ネットD/Eレシオ0.8倍以下を維持

- ✓ 2026年12月末のネットD/Eレシオは、0.8倍の見通し

株主還元額の推移

- 中間配当**70**円（当初計画70円） + 期末配当**80**円（当初計画70円） = 年間配当**150**円（当初計画140円）
- 2026年 8月12日から、**100億円**（上限）の自己株式取得を実施予定



連結損益計算書

■ 売上高および各段階利益で、**上期の過去最高値**を更新

(億円)	2025 上期	2026 上期	増 減	増減比	現地通貨ベース 増減比
売上高	5,232	5,930	697	+ 13.3%	+ 5.8%
売上原価	△ 4,064	△ 4,478	△ 413		
販売費及び一般管理費	△ 898	△ 934	△ 36		
営業利益	270	518	249	+ 92.2%	+ 79.8%
営業利益率	5.2%	8.7%	-		
金融収支	△ 18	△ 14	4		
持分法投資損益	9	35	26		
為替差損益	△ 48	△ 2	47		
その他	△ 10	△ 14	△ 5		
経常利益	203	523	320	+ 157.7%	
特別利益	24	32	8		
特別損失	△ 19	△ 34	△ 15		
税前利益	208	521	313		
法人税等	△ 74	△ 140	△ 66		
中間純利益	134	380	247		
非支配株主に帰属する中間純利益	△ 3	△ 9	△ 6		
親会社株主に帰属する中間純利益	131	372	241	+ 184.1%	
EBITDA*	491	809	318	+ 64.8%	

*EBITDA：親会社株主に帰属する中間期純利益＋法人税等合計＋支払利息－受取利息＋減価償却費＋のれん償却額

特別損益の内訳	2025 上期	2026 上期
特別利益		
美術品売却益	-	28
補助金収入	-	4
関係会社株式及び出資金売却益	17	-
固定資産売却益	7	-
特別損失		
リストラ関連退職損失	△4	△ 9
関係会社整理損	-	△ 9
固定資産処分損	△8	△ 8
事業撤退損	-	△ 4
投資有価証券評価損	-	△ 3
関係会社株式及び出資金売却損	△5	-
減損損失	△2	-

■ 平均レート

	2025 上期	2026 上期
USD/円	148.58	158.32
EUR/円	162.72	184.54

財務体質

- ネットD/Eレシオ0.8倍以下を目標としながら、戦略投資と株主還元バランス良く資金を投入することをキャッシュアロケーション方針としている

(億円)	2025 期末	2026 6月末	増減
ネット有利子負債	3,894	3,828	△ 66
自己資本	4,709	5,100	392
ネットD/Eレシオ *1	0.83倍	0.75倍	
自己資本比率	37.0%	38.3%	
1株当たり純資産 (円)	4,973.39	5,385.05	

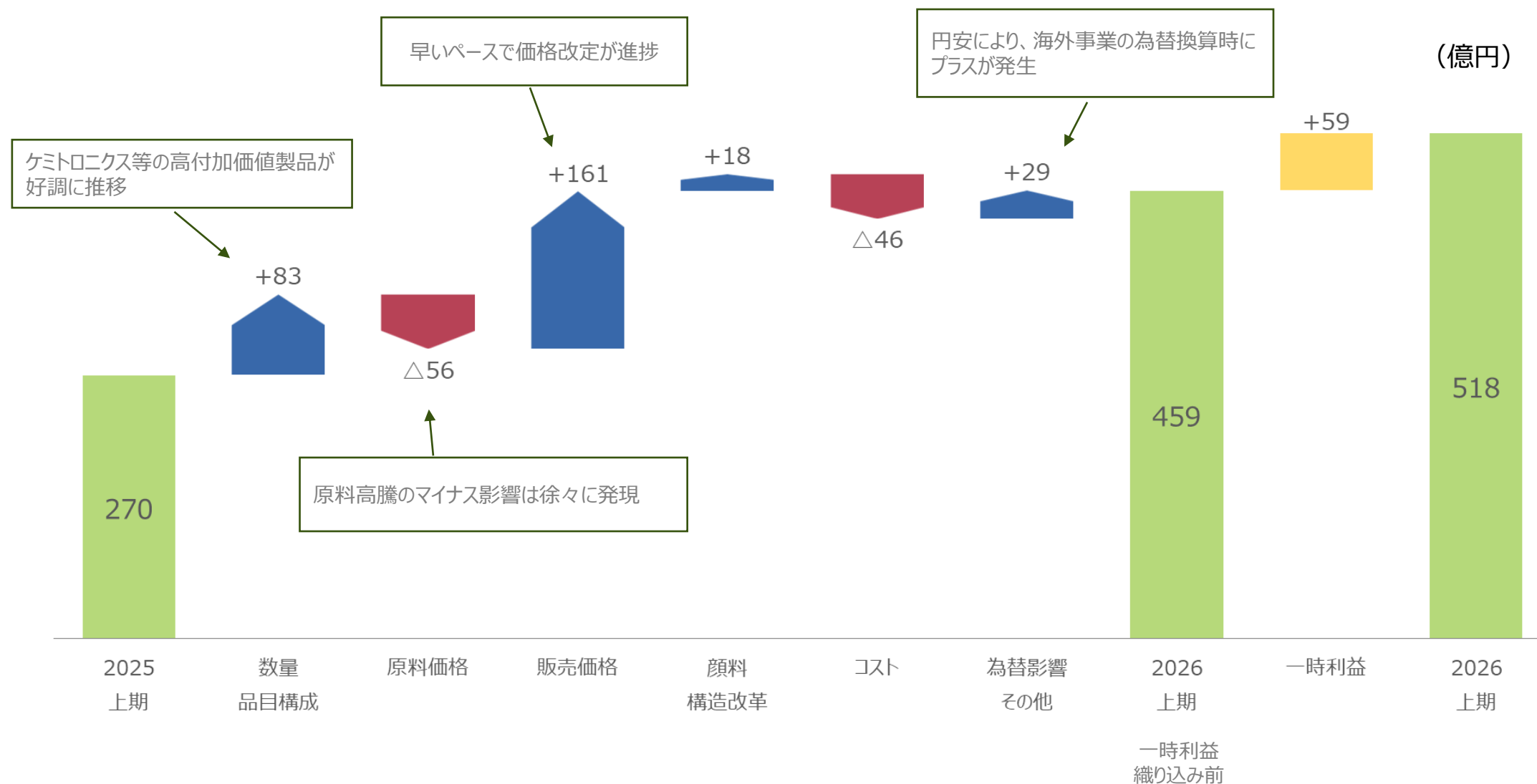
❗ 利益剰余金の増加 (+229)
円安による為替換算調整勘定の増加 (+177)

■ 期末レート

	2025 期末	2026 6月末
USD/円	156.60	162.30

*1 ネットD/Eレシオ： ネット有利子負債／自己資本

営業利益増減要因



セグメント別業績

(億円)	売 上 高					営 業 利 益					営 業 利 益 率	
	2025 上期	2026 上期	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2025 上期	2026 上期	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2025 上期	2026 上期
パッケージング&グラフィック	2,688	3,072	384	+ 14.3%	+ 6.5%	134	217	84	+ 62.6%	+ 52.7%	5.0%	7.1%
日本	622	674	52	+ 8.4%	+ 8.4%	25	45	20	+ 79.4%	+ 79.4%	4.0%	6.6%
米州・欧州	1,727	1,999	271	+ 15.7%	+ 5.3%	82	136	55	+ 67.0%	+ 52.9%	4.7%	6.8%
アジア他	410	479	69	+ 16.9%	+ 9.3%	26	37	10	+ 39.6%	+ 32.6%	6.4%	7.7%
連結調整	△ 71	△ 80	△ 9	-	-	1	△ 1	△ 1	-	-	-	-
カラー & ディスプレイ	1,313	1,425	112	+ 8.6%	+ 0.1%	57	120	63	2.1倍	2.0倍	4.3%	8.4%
日本	180	182	2	+ 1.1%	+ 1.1%	31	30	△ 1	△ 3.3%	△ 3.3%	17.1%	16.3%
海外	1,234	1,345	111	+ 9.0%	△ 0.6%	26	91	64	3.4倍	3.0倍	2.1%	6.7%
連結調整	△ 101	△ 102	△ 1	-	-	△ 1	△ 0	0	-	-	-	-
ファンクショナルプロダクツ	1,430	1,616	186	+ 13.0%	+ 7.6%	109	213	105	+ 96.4%	+ 86.8%	7.6%	13.2%
日本	889	978	89	+ 10.1%	+ 10.1%	52	122	70	2.3倍	2.3倍	5.9%	12.4%
海外	698	833	135	+ 19.4%	+ 8.1%	57	94	37	+ 65.7%	+ 47.6%	8.2%	11.3%
連結調整	△ 157	△ 195	△ 39	-	-	△ 0	△ 3	△ 2	-	-	-	-
その他、全社・消去	△ 198	△ 183	15	-	-	△ 29	△ 32	△ 3	-	-	-	-
連結合計	5,232	5,930	697	+ 13.3%	+ 5.8%	270	518	249	+ 92.2%	+ 79.8%	5.2%	8.7%
USD/円	148.58	158.32		+ 6.6%		148.58	158.32		+ 6.6%			
EUR/円	162.72	184.54		+ 13.4%		162.72	184.54		+ 13.4%			

パッケージング&グラフィック

売上高

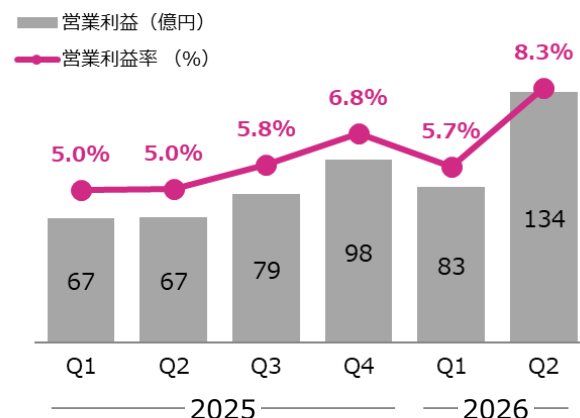
- 物価高にともなう消費の落ち込みによりパッケージ用インキの需要は軟調だが、中東情勢の影響を見越した顧客による調達の前倒しが見られた
- 原料価格高騰に対して速やかな価格対応に努めた結果、全ての地域で増収

営業利益

- ジェットインキやセキュリティインキ等の高付加価値製品の拡販および原料高騰に対する価格対応の進展により、全ての地域で大幅に増益

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2025 上期	2026 上期	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2025 上期	2026 上期	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2025 上期	2026 上期
パッケージング&グラフィック	2,688	3,072	384	+ 14.3%	+ 6.5%	134	217	84	+ 62.6%	+ 52.7%	5.0%	7.1%
日本	622	674	52	+ 8.4%	+ 8.4%	25	45	20	+ 79.4%	+ 79.4%	4.0%	6.6%
米州・欧州	1,727	1,999	271	+ 15.7%	+ 5.3%	82	136	55	+ 67.0%	+ 52.9%	4.7%	6.8%
アジア他	410	479	69	+ 16.9%	+ 9.3%	26	37	10	+ 39.6%	+ 32.6%	6.4%	7.7%
連結調整	△ 71	△ 80	△ 9	-	-	1	△ 1	△ 1	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

	増減比	
パッケージ用インキ*	+ 5%	前倒し需要と価格改定の進展により、増収
出版用インキ*	+ 4%	前倒し需要と価格改定の進展により、増収
ジェットインキ	+ 8%	出荷が好調に推移し、増収
ポリスチレン	+ 12%	原料価格の上昇を反映した価格改定により、増収
多層フィルム	+ 11%	原料価格の上昇を反映した価格改定により、増収

*現地通貨ベース増減比

カラー&ディスプレイ

売上高

- ・ 需要のばらつきや原料コストの上昇があったものの、前倒し需要と価格改定により現地通貨ベースでは前年並みの売上高となった。円安による為替換算影響により、増収となった

営業利益

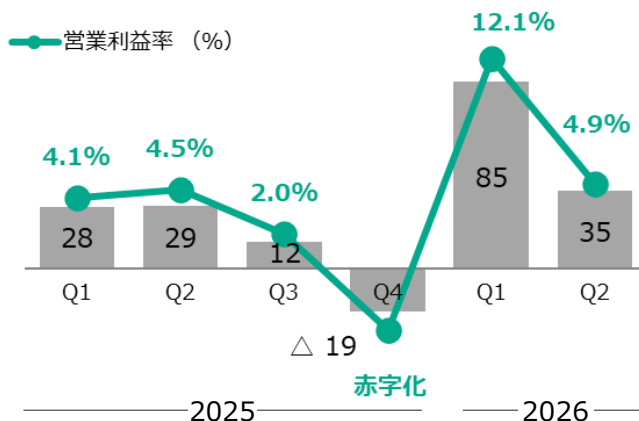
- ・ 過年度に計上した修繕に関する負債59億円を取り崩しをしたことなどにより、Q1に一時利益を計上
- ・ 加えて、価格改定や構造改革によるコスト削減などの取り組みにより、収益性が改善し大幅な増益となった

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2025 上期	2026 上期	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2025 上期	2026 上期	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2025 上期	2026 上期
カラー & ディスプレイ	1,313	1,425	112	+ 8.6%	+ 0.1%	57	120	63	2.1倍	2.0倍	4.3%	8.4%
日本	180	182	2	+ 1.1%	+ 1.1%	31	30	△ 1	△ 3.3%	△ 3.3%	17.1%	16.3%
海外	1,234	1,345	111	+ 9.0%	△ 0.6%	26	91	64	3.4倍	3.0倍	2.1%	6.7%
連結調整	△ 101	△ 102	△ 1	-	-	△ 1	△ 0	0	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率

■ 営業利益 (億円)

● 営業利益率 (%)



主要製品の売上高推移

増減比*			
顔料	塗料用	+ 2%	建築塗料用と工業塗料用が堅調に推移した
	プラスチック用	+ 7%	シェア拡大により増収
	インキ用	+ 3%	前倒し需要が発生し、増収
	化粧品用	△ 2%	事業は安定的に推移。付加価値の低い一部製品について戦略的判断により販売を終了したため減収
	ディスプレイ用	+ 8%	パネルメーカーの稼働が改善し、増収
	スペシャリティ用	△ 3%	農業向けの出荷は前年を上回ったが、その他の用途で減収となった

*現地通貨ベース増減比

ファンクショナルプロダクツ

売上高

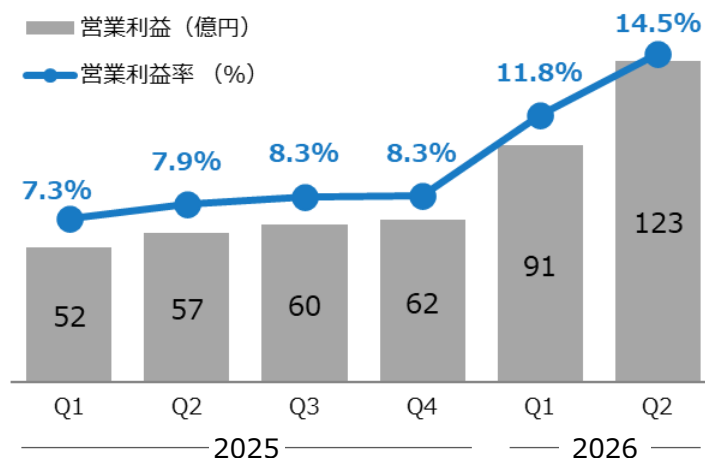
- ・ エレクトロニクスに関連する高付加価値製品の出荷が好調に推移した。加えて、コーティング用樹脂では、中東情勢の影響を見越した顧客による調達の前倒しが見られ、増収

営業利益

- ・ 高付加価値製品の増加および原料高騰に対する価格対応の進展により、大幅な増益

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2025 上期	2026 上期	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2025 上期	2026 上期	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2025 上期	2026 上期
ファンクショナルプロダクツ	1,430	1,616	186	+ 13.0%	+ 7.6%	109	213	105	+ 96.4%	+ 86.8%	7.6%	13.2%
日本	889	978	89	+ 10.1%	+ 10.1%	52	122	70	2.3倍	2.3倍	5.9%	12.4%
海外	698	833	135	+ 19.4%	+ 8.1%	57	94	37	+ 65.7%	+ 47.6%	8.2%	11.3%
連結調整	△ 157	△ 195	△ 39	-	-	△ 0	△ 3	△ 2	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

	増減比		増減比
エポキシ樹脂	+ 23%	コーティング用樹脂	+ 12%
工業用テープ	+ 14%	PPSコンパウンド	+ 8%
UV硬化型樹脂	+ 26%	中空糸膜モジュール	+ 6%

エポキシ樹脂、工業用テープ、UV硬化型樹脂などのデジタル分野がメインとなる製品の出荷が好調に推移した。PPSコンパウンドはモビリティ関連用途と住設機器用途のいずれも出荷が好調に推移した。コーティング用樹脂は、海外を中心に在庫積み増しの動きがあり、増収となった

■ ファンクショナルプロダクツ 補足資料

- ファンクショナルプロダクツに含まれている**ケミトロニクス事業本部**の業績

売上高

- ・ AI半導体需要の増加に伴い、エポキシ樹脂の出荷が大幅に増加した
- ・ 工業用テープは、スマートフォン等のモバイル機器向けの需要を着実に取り込み、当社製品の採用が増加した

営業利益

- ・ 高付加価値製品の出荷が好調に推移したことに加え、原料高騰に対する価格対応の進展により、大幅に増益

(億円)	売上高				営業利益				営業利益率	
	2025 上期	2026 上期	増減	増減比	2025 上期	2026 上期	増減	増減比	2025 上期	2026 上期
ケミトロニクス事業本部	300	376	76	+ 25.5%	33	81	49	2.5倍	10.9%	21.6%

主な製品：エポキシ樹脂等のパッケージ基板・プリント基板向けの熱硬化性樹脂、工業用テープ、UV硬化型樹脂、フォトレジスト用ポリマー、界面活性剤

2026年度の業績見通し

- 下期の見通しに、中東情勢に伴う顧客による在庫積み増しの反動や、原料価格高騰の影響が顕在化することなどのリスクを織り込んだ上で、年間営業利益は過去最高益となる見通し
- 経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益も過去最高益を更新する見通し

(億円)

	2025	2026 見通し	増減比	前回見通し
売上高	10,522	11,400	+ 8.3%	11,000
営業利益	522	780	+ 49.4%	560
営業利益率	5.0%	6.8%	—	5.1%
経常利益	442	730	+ 65.0%	480
親会社株主に帰属する当期純利益	324	480	+ 48.4%	330
1株当たり純利益 (円)	341.71	507.99 	—	348.54
EBITDA *1	1,093	1,300	+ 19.0%	1,110
設備投資・投融資	426	534	+ 25.4%	534
減価償却費・のれん償却額	550	547	△0.5%	547
平均レート				
USD/円	150.08	150.00	△0.1%	150.00
EUR/円	169.58	175.00	+ 3.2%	168.00

*1 EBITDA：親会社株主に帰属する当期純利益＋法人税等合計＋支払利息－受取利息＋減価償却費＋のれん償却額

	2025	2026 見通し
ROIC *2	4.4%	6.4%
ROE	7.4%	10.1%
ネットD/Eレシオ *3	0.83倍	0.80倍
年間配当／株 (円)	200	150
総還元性向	58.5%	50.0%

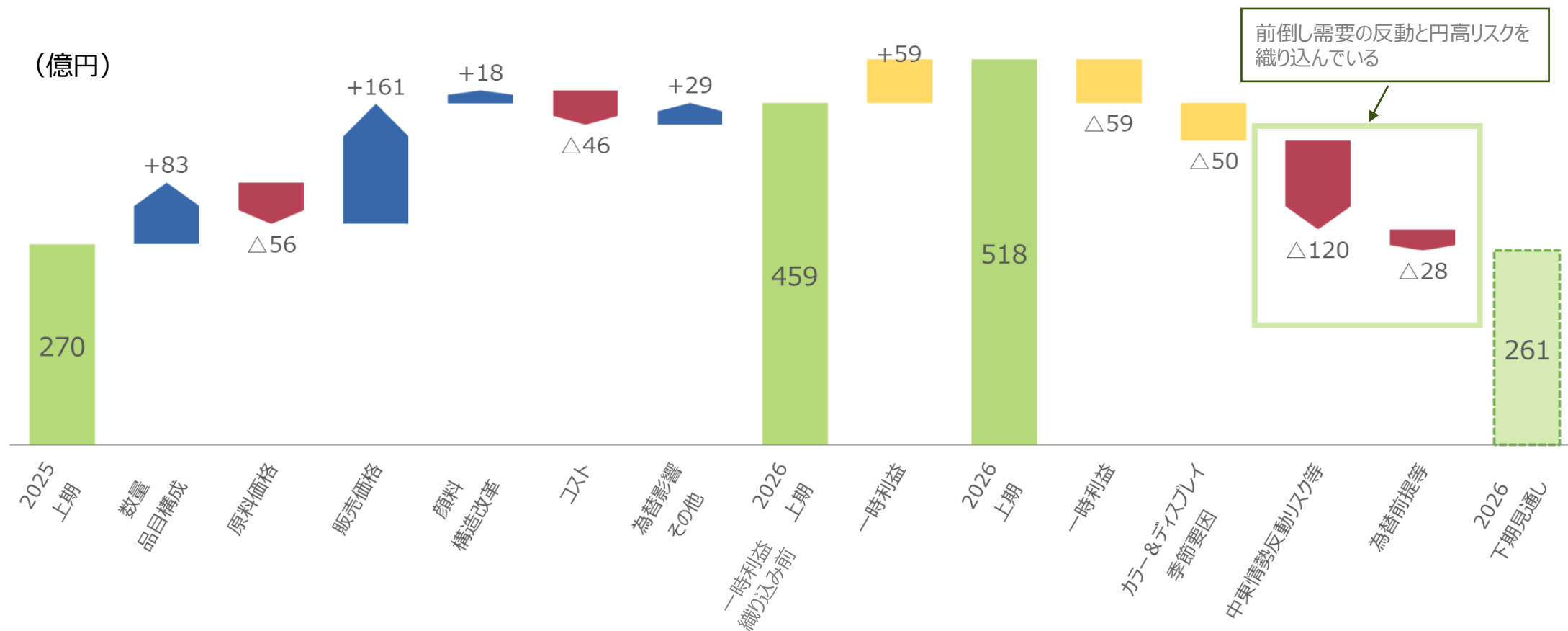
 自己株式取得の影響を考慮している

*2 ROIC：営業利益×（1-実効税率28%）／（ネット有利子負債＋純資産）

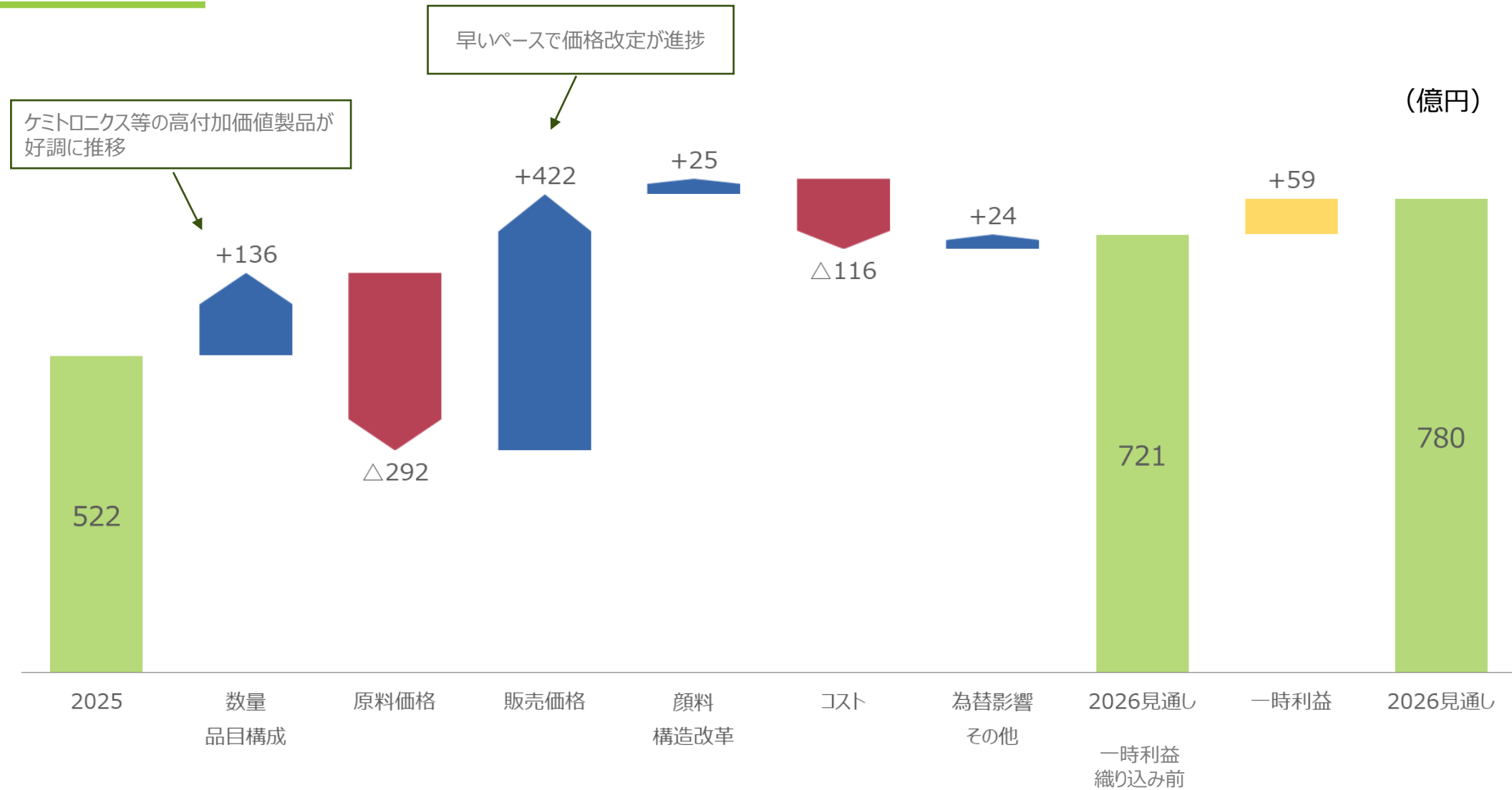
*3 ネットD/Eレシオ： ネット有利子負債／自己資本

2026年上期から下期への営業利益増減益見通し

- 一時利益の剥落、カラー & ディスプレイセグメントの季節要因により、下期の営業利益は上期対比で減益となる見通し
- 下期のリスク要因を保守的に織り込んだ上で、年間営業利益は過去最高益となる見通し



営業利益増減要因



2026年度のセグメント別業績見通し

(億円)

	売 上 高				営 業 利 益				営 業 利 益 率		前回見通し	
	2025	2026 見通し	増減	増減比	2025	2026 見通し	増減	増減比	2025	2026 見通し	2026 売上高	2026 営業利益
パッケージング & グラフィック	5,497	5,917	421	+ 7.7%	311	375	64	+ 20.7%	5.7%	6.3%	5,770	300
日本	1,255	1,277	22	+ 1.8%	58	77	19	+ 32.1%	4.6%	6.0%	1,280	60
米州・欧州	3,530	3,863	333	+ 9.4%	186	230	44	+ 23.4%	5.3%	5.9%	3,730	175
アジア他	850	916	67	+ 7.8%	65	69	4	+ 6.7%	7.6%	7.5%	880	65
連結調整	△ 138	△ 139	△ 2	-	2	△ 1	△ 2	-	-	-	△ 120	0
カラー & ディスプレイ	2,464	2,661	197	+ 8.0%	50	139	89	2.8倍	2.0%	5.2%	2,550	85
日本	344	359	15	+ 4.3%	49	61	12	+ 24.4%	14.3%	17.0%	360	61
海外	2,303	2,482	179	+ 7.8%	1	78	77	85.7倍	0.0%	3.1%	2,360	24
連結調整	△ 184	△ 181	3	-	△ 0	△ 0	0	-	-	-	△ 170	0
ファンクショナルプロダクツ	2,909	3,149	240	+ 8.3%	231	341	110	+ 47.5%	7.9%	10.8%	2,980	245
日本	1,797	1,928	131	+ 7.3%	108	185	77	+ 71.4%	6.0%	9.6%	1,810	114
海外	1,431	1,570	138	+ 9.7%	123	158	35	+ 28.9%	8.6%	10.1%	1,470	131
連結調整	△ 320	△ 349	△ 29	-	0	△ 3	△ 3	-	-	-	△ 300	0
その他、全社・消去	△ 347	△ 326	20	-	△ 69	△ 74	△ 5	-	-	-	△ 300	△ 70
連結合計	10,522	11,400	878	+ 8.3%	522	780	258	+ 49.4%	5.0%	6.8%	11,000	560
USD/円	150.08	150.00		△0.1%	150.08	150.00		△0.1%			150.00	150.00
EUR/円	169.58	175.00		+ 3.2%	169.58	175.00		+ 3.2%			168.00	168.00

ファンクショナルプロダクツ 補足資料

- 下期は、高コストの製品在庫が出荷されることなどによりスプレッド縮小が見込まれるが、半導体関連需要の取り込みにより高成長が継続する見通し

- ファンクショナルプロダクツに含まれている**ケミトロニクス事業本部**の業績

(億円)	売 上 高				営 業 利 益				営業利益率	
	2025	2026 見通し	増減	増減比	2025	2026 見通し	増減	増減比	2025	2026 見通し
ケミトロニクス事業本部	653	781	128	+ 19.7%	78	141	63	+ 80.6%	12.0%	18.1%

参考資料



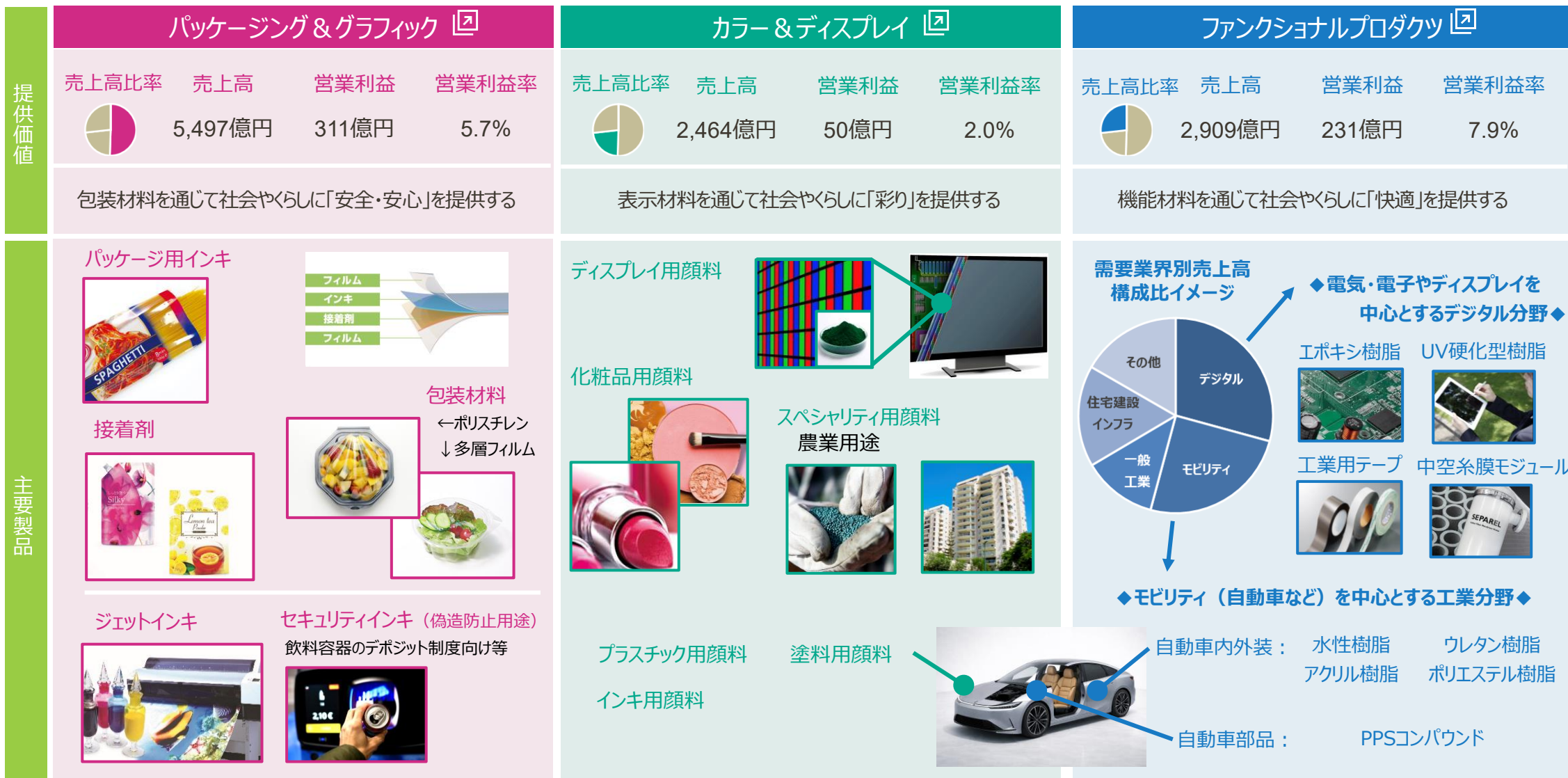
その他の主なトピックス (2026年5月～2026年8月)

ニュースリリース 2026年
<https://www.dic-global.com/ja/news/2026/>


- 5月 欧州ディープテック拠点に投資管理子会社「DIC D2S Ventures AG」を設立
- 6月 2025年度「CDPサプライヤーエンゲージメント」評価で最高評価に初選定
- 6月 活性エステル型エポキシ樹脂硬化剤の事業化で「第25回 G S C 賞 経済産業大臣賞」を受賞
- 7月 スイスでフィジカルAIの国際共創イベントを開催
- 7月 統合報告書を刷新し「[DICIレポート2026](#)」を発行
 サステナビリティレポートとの分冊化により、中長期の企業価値を伝える情報開示を強化
- 7月 初の「[サステナビリティレポート2026](#)」を発行
 統合報告書との分冊化により、ESG情報の網羅性を高め、グローバルな情報開示を強化

事業セグメントと主要製品

2025年度実績数値



セグメント情報の集計方法の変更

(億円)	売上高			営業利益		
	2025 変更前	変更額	2025 変更後	2025 変更前	変更額	2025 変更後
パッケージング & グラフィック	5,497		5,497	311	△ 0	311
日本	1,255		1,255	58		58
米州・欧州	3,530		3,530	186		186
アジア他	850		850	65		65
連結調整	△ 138		△ 138	2	△ 0	2
カラー & ディスプレイ	2,475	△ 11	2,464	50	△ 0	50
日本	344		344	49		49
海外	2,303		2,303	1		1
連結調整	△ 173	△ 11	△ 184	△ 0	△ 0	△ 0
ファンクショナルプロダクツ	2,909		2,909	231	△ 0	231
日本	1,797		1,797	108		108
海外	1,431		1,431	123		123
連結調整	△ 320		△ 320	0	△ 0	0
その他、全社・消去	△ 358	11	△ 347	△ 70	1	△ 69
連結合計	10,522	0	10,522	522	0	522
ファンクショナルプロダクツに含まれているケミトロニクス事業本部						
ケミトロニクス事業本部	653		653	78	0	78

- 当社は、2026年12月期を起点とする長期経営計画「DIC Vision 2030」Phase 2において、「資本効率の改善によるキャッシュ創出の最大化」を重点テーマの一つとして挙げており、達成度を測る指標の一つとして2030年度のROIC目標値をセグメント別に設定し、資本コストを上回る高い資産・資本効率の実現に取り組んでいます。
- これに伴い、各報告セグメントの資産・資本効率をより的確に反映するため、2026年度より、セグメント情報の集計方法を変更しています。
- 本資料の2025年度実績は、変更後の集計方法により作成したものを記載しています。
- なお、本変更による営業利益への影響は軽微です。

セグメント別四半期業績推移

(億円)	売 上 高						営 業 利 益					
	2025 Q1	2025 Q2	2025 Q3	2025 Q4	2026 Q1	2026 Q2	2025 Q1	2025 Q2	2025 Q3	2025 Q4	2026 Q1	2026 Q2
パッケージング&グラフィック	1,340	1,348	1,373	1,436	1,452	1,619	67	67	79	98	83	134
日本	307	315	312	321	307	367	10	15	17	16	12	33
米州・欧州	864	863	877	926	957	1,042	44	38	46	58	55	81
アジア他	205	204	217	223	226	253	13	14	16	23	16	21
連結調整	△ 36	△ 35	△ 33	△ 34	△ 37	△ 43	△ 0	1	0	0	△ 0	△ 0
カラー & ディスプレイ	686	627	606	544	697	729	28	29	12	△ 19	85	35
日本	89	92	82	81	83	99	13	17	10	8	9	21
海外	651	583	564	505	664	681	16	10	2	△ 27	75	15
連結調整	△ 54	△ 48	△ 41	△ 42	△ 50	△ 52	△ 2	1	△ 0	0	0	△ 0
ファンクショナルプロダクト	708	721	729	750	767	848	52	57	60	62	91	123
日本	438	451	434	474	465	514	25	28	27	29	50	72
海外	346	351	374	360	399	434	27	29	33	33	42	53
連結調整	△ 76	△ 81	△ 79	△ 84	△ 96	△ 99	△ 0	0	1	0	△ 1	△ 1
その他、全社・消去	△ 113	△ 85	△ 82	△ 67	△ 91	△ 92	△ 16	△ 13	△ 17	△ 23	△ 13	△ 19
連結合計	2,621	2,611	2,626	2,663	2,825	3,105	131	139	135	117	245	273

連結貸借対照表

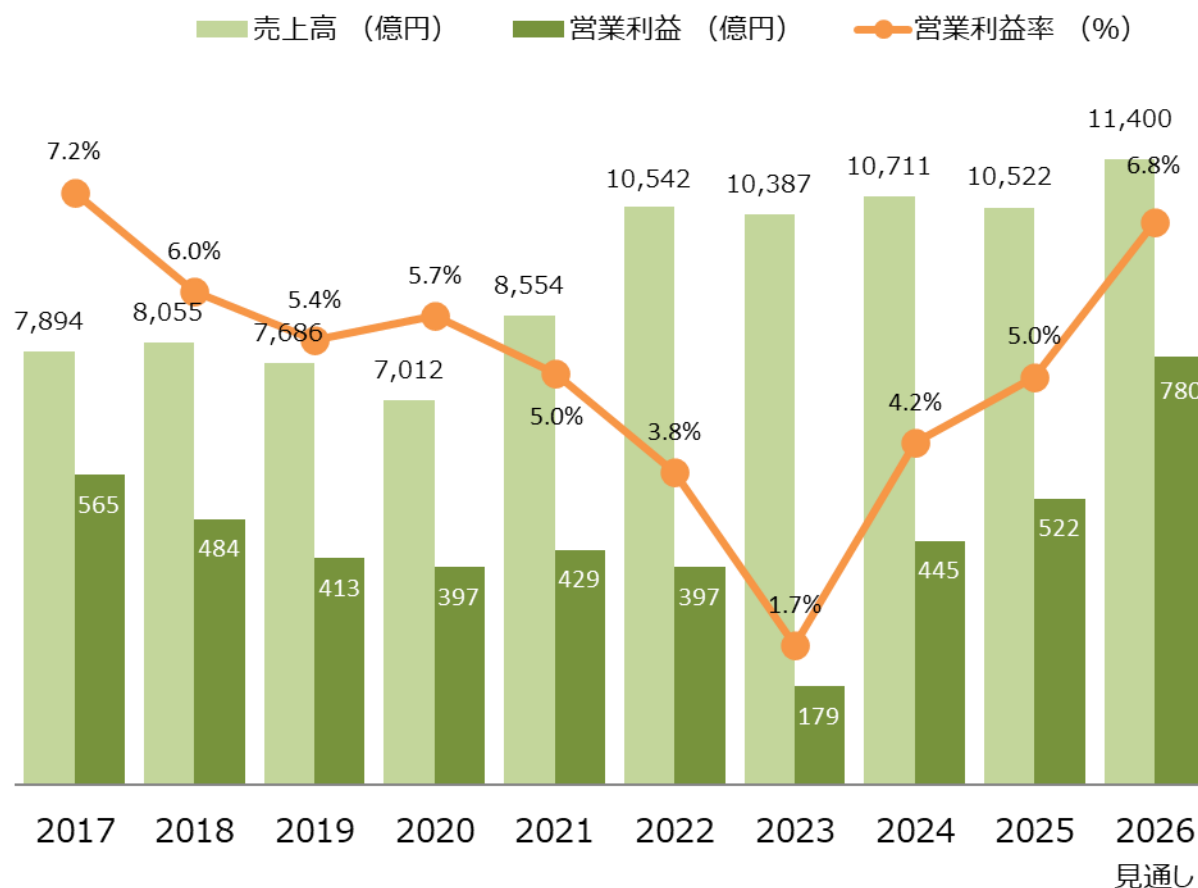
(億円)	2025 期末	2026 6月末	増 減
流動資産	6,275	6,790	515
有形固定資産	3,711	3,748	37
無形固定資産	621	613	△ 9
投資その他の資産	2,133	2,156	23
資産合計	12,741	13,307	566
流動負債	3,865	3,933	68
固定負債	3,967	4,076	109
負債合計	7,832	8,009	177
株主資本	3,992	4,222	230
その他の包括利益累計額	717	878	161
(為替換算調整勘定)	(642)	(818)	(177)
非支配株主持分	200	198	△ 2
純資産合計	4,908	5,298	390
負債純資産合計	12,741	13,307	566
有利子負債残高	4,583	4,535	△ 48
現預金残高	689	707	18
ネット有利子負債	3,894	3,828	△ 66

連結キャッシュ・フロー計算書

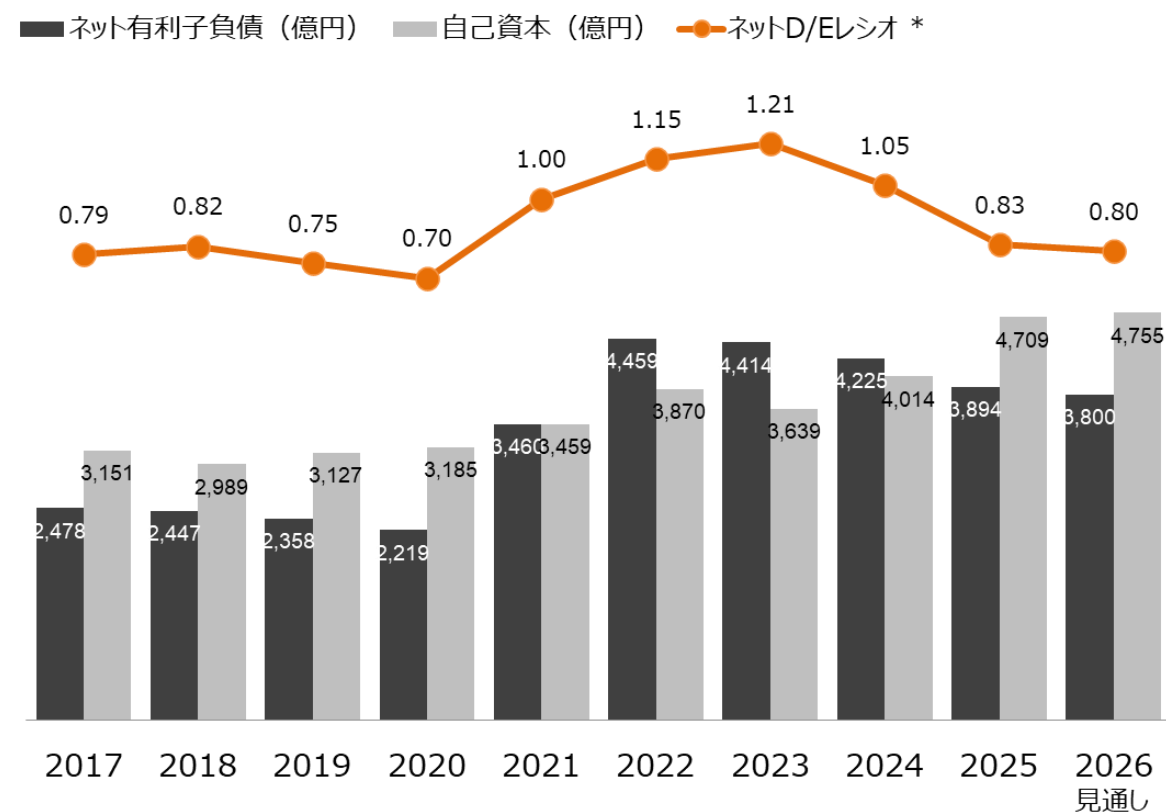
(億円)	2025 上期	2026 上期	増 減
営業キャッシュ・フロー	215	421	205
投資キャッシュ・フロー	△ 155	△ 179	△ 24
財務キャッシュ・フロー	△ 38	△ 275	△ 237
現金及び現金同等物の期末残高	564	682	118
フリーキャッシュ・フロー	60	241	181
運転資本の増減額	△ 190	△ 185	5
設備投資・投融資	207	230	23
減価償却費・のれん償却額	267	282	15

業績の推移

業績

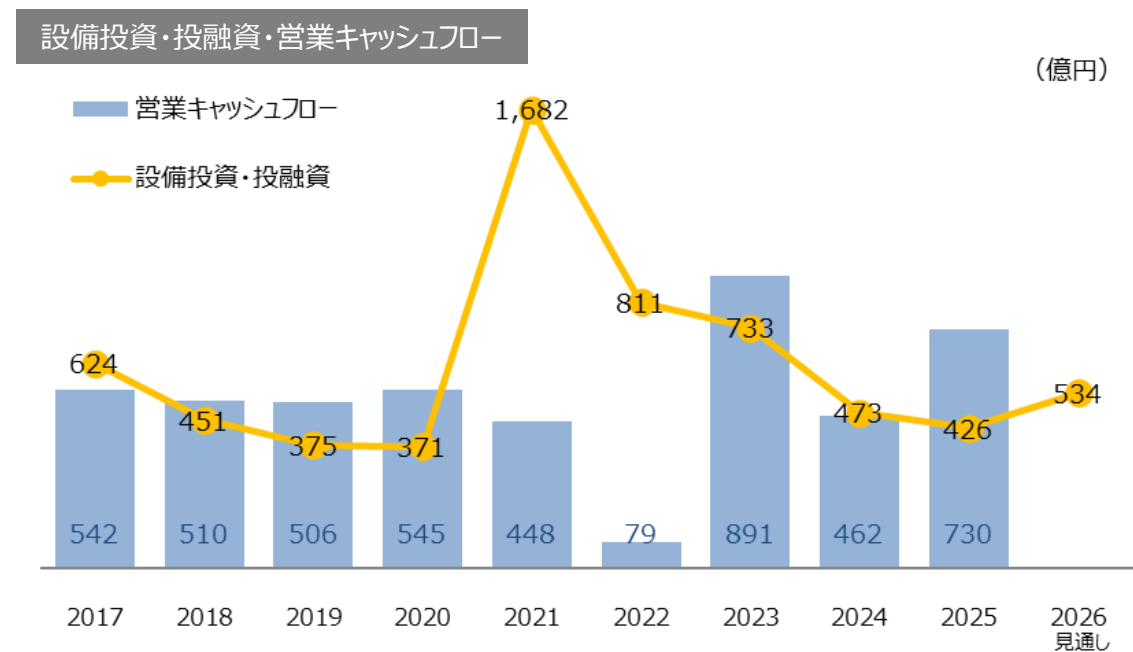
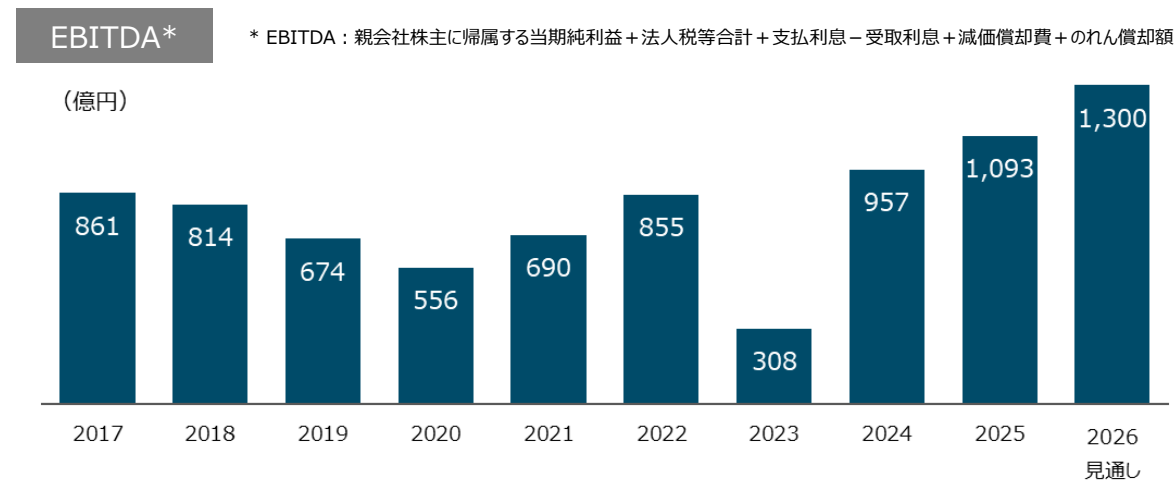
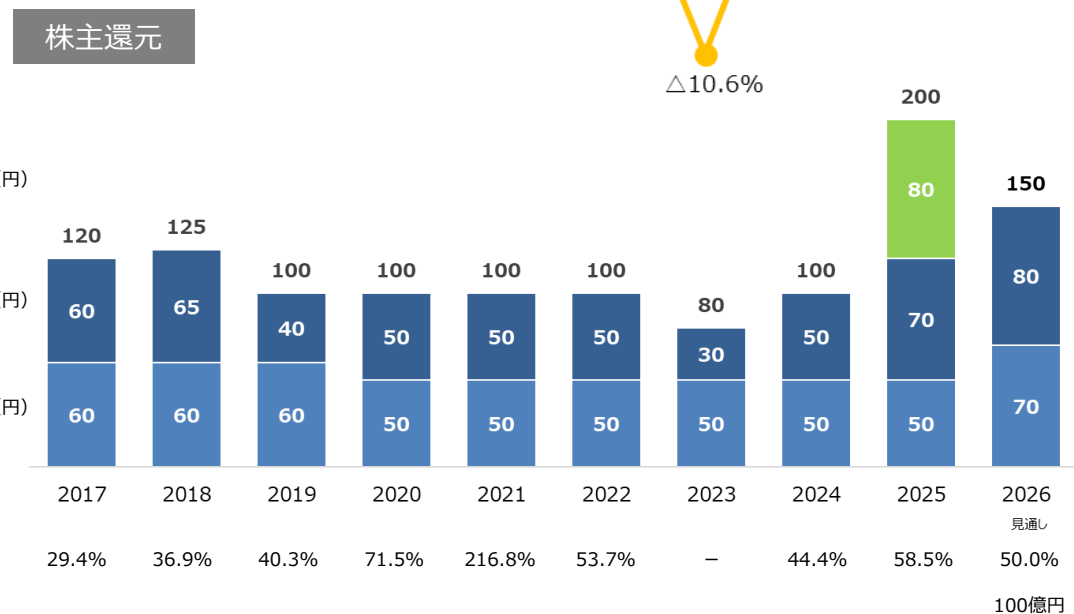
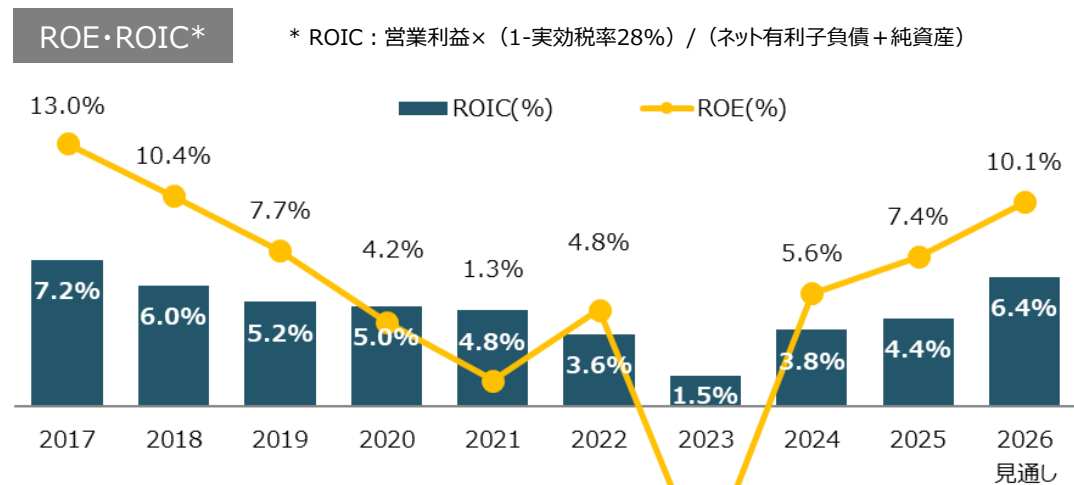


財務体質



* ネットD/Eレシオ： ネット有利子負債／自己資本

業績の推移



本資料の前提について

【為替レート】	2025				2026		2026前提	前回の前提
	Q1	上期	Q3累計	年間	Q1	上期	下期	通期
USD/円 平均レート	152.46	148.58	148.42	150.08	156.49	158.32	150.00	150.00
USD/円 期末レート	149.05	143.91	148.29	156.60	159.62	162.30	150.00	150.00

【原料】	2025				2026		2026前提	前回の前提
	1－3月	4－6月	7－9月	10－12月	1－3月	4－6月	下期	通期
原油（WTI）ドル/バレル	71.40	63.70	64.90	59.10	71.90	92.80	75.00	65.00
国産ナフサ 円/kl	73,400	66,300	63,200	65,600	65,700	118,000	85,500	65,000

【決算期】

当社グループの決算期は、海外子会社・国内会社ともに1月1日から12月31日までの12ヶ月を連結対象期間としています。
当期は、2026年1月1日から6月30日までの6ヶ月間を連結対象期間として記載しています。

＜予想に関する注意事項＞

本資料は、情報の提供を目的としており、いかなる勧誘行為を行うものではありません。
業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断した見通しですが、
実際の売上高及び利益は、記載している予想数値とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

当社は、業績見通しの正確性・完全性に関する責任を負うものではありません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。

本資料に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、
当社は責任を負うものではありません。



Color & Comfort



DIC Corporation